



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 オークマ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6103 URL <http://www.okuma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花木 義麿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・企画部長 (氏名) 堀江 親

TEL 0587-95-7822

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	90,492	△4.9	4,623	△32.6	4,913	△23.9	3,698	△16.6
25年3月期第3四半期	95,131	△5.9	6,860	△4.5	6,459	4.0	4,436	△6.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 10,501百万円 (85.9%) 25年3月期第3四半期 5,647百万円 (234.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.59	—
25年3月期第3四半期	27.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	180,777	115,394	61.5
25年3月期	165,350	107,097	62.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 111,234百万円 25年3月期 103,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△2.8	9,000	△16.8	9,000	△11.6	7,200	△5.2	43.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	168,775,770 株	25年3月期	168,775,770 株
26年3月期3Q	5,283,982 株	25年3月期	4,577,684 株
26年3月期3Q	163,708,580 株	25年3月期3Q	164,203,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 受注及び販売の状況	11
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。米国経済は底堅さを維持し、欧州経済は弱さが残るものの全体として持ち直しの兆しが見られました。また中国経済は一進一退の動きながらも緩やかな回復基調で推移いたしました。

わが国の経済におきましては、円高修正と世界経済の持ち直しに加えて、金融・財政政策の後押しにより、自律的な景気回復の動きが進んでまいりました。

工作機械の需要動向につきましては、国内では設備投資の裾野が広がりつつある中、需要回復の動きが一段と確かなものとなってまいりました。海外においては、米国市場は堅調に推移し、また欧州、アジアの両市場は緩やかな回復傾向となりました。

この様な状況の下、当企業グループは「グローバル70」の指針を掲げ、プレミアム・プロダクト戦略とグローバル・コスト戦略の両輪で、製品競争力の更なる強化を図り、グローバル販売戦略により、活況市場・好調産業からの受注拡大、そして新市場・新顧客の開拓を進めてまいりました。

プレミアム・プロダクト戦略におきましては、高機能・高品質・高付加価値を基軸とした商品戦略の下、新商品、新技術の開発を進めてまいりました。

新商品開発では、横形複合加工機MULTUS Uシリーズ、5軸立形マシニングセンタMU-5000Vなど、強みの高付加価値マシンの開発を進めてまいりました。

新技術開発では、高精度な金型加工を実現する独自の熱変位低減技術と振動抑制技術が「第23回 型技術協会賞 技術賞」を受賞するなど、機電融合技術を土台にした知能化技術などの開発を進めてまいりました。

グローバル・コスト戦略におきましては、生産性向上に努め、また、海外調達・海外生産の拡大を図り、価格競争力の強化を進めてまいりました。

国内生産の強化につきましては、多品種少量生産における高効率生産とリードタイム短縮を実現する本社新工場（ドリームサイト1：DS1）が平成25年5月に竣工し、生産を開始いたしました。

海外調達・海外生産拡大の取り組みとしましては、台湾と北京の生産拠点を活用し、コストダウンを図ってまいりました。

グローバル販売戦略におきましては、好調産業、有望市場にフォーカスし、受注・売上の拡大に努めました。

先進国市場では、9月に開催された「欧州国際工作機械見本市（EMO 2013）」において、先進国市場での戦略機種である複合加工機、5軸加工機などの新機種群を出品し、ハイテク産業での顧客開拓を進めてまいりました。

新興国市場では、4月に開催された「中国国際工作機械展覧会（CIMT 2013）」に出展し、門形マシニングセンタを代表とする当社の高付加価値マシンを展示、アピールするなど、オークマブランドの市場への浸透を図り、新市場・新顧客の開拓を進めてまいりました。

国内では、11月に愛知県の本社にて「オークママシンフェア2013」を開催し、強みとする高付加価値マシン、独自の知能化技術をアピールいたしました。

このように「グローバル70」の戦略を確実に実行してまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における連結受注高は1,092億8百万円（前年同四半期比21.7%増）、連結売上高は904億92百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は46億23百万円（前年同四半期比32.6%減）、経常利益は49億13百万円（前年同四半期比23.9%減）、四半期純利益は36億98百万円（前年同四半期比16.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末と比較して154億26百万円増加し、1,807億77百万円となりました。主な要因は、「たな卸資産」の増加100億28百万円、「建物及び構築物」等有形固定資産の増加79億53百万円、「投資有価証券」の増加37億96百万円、「受取手形及び売掛金」の減少38億89百万円、及び「現金及び預金」の減少36億66百万円などによるものです。また、負債は前連結会計年度末と比較して、71億28百万円増加いたしました。主な要因は、「リース債務」の増加34億96百万円、「支払手形及び買掛金」の増加26億95百万円、「電子記録債務」の増加18億34百万円、及び「1年内返済予定の長期借入金」の減少8億50百万円などによるものです。純資産は、「利益剰余金」の増加20億58百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加25億61百万円、及び「為替換算調整勘定」の増加34億64百万円などにより、82億97百万円の増加となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は61.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済の見通しにつきましては、徐々に底堅さを増していくものと予想されます。米国経済は景気回復が続き、欧州経済は持ち直しに向かうものと見込まれます。中国では緩やかながらも安定した経済成長が持続することが見込まれます。

わが国経済の見通しにつきましては、海外経済の回復、円安による輸出環境の改善に加え、経済政策等の効果により緩やかな回復基調で推移するものと予想されます。

工作機械の市況につきましては、米国での堅調な需要に加えて、国内での更新需要の顕在化、欧州での景気回復、アジアでの設備投資の持ち直しなどを背景に、需要の拡大が見込まれます。

このような状況に対し当企業グループは、「グローバル70」の戦略を一段と強化して推進し、業績向上に努めてまいります。

以上を踏まえ、平成25年10月31日に公表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,822	26,156
受取手形及び売掛金	32,107	28,218
たな卸資産	44,388	54,417
その他	7,411	8,558
貸倒引当金	△201	△220
流動資産合計	113,529	117,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,875	17,023
リース資産（純額）	198	3,594
その他（純額）	13,417	14,826
有形固定資産合計	27,491	35,444
無形固定資産		
投資その他の資産	3,105	3,019
投資有価証券	17,823	21,620
その他	3,409	3,572
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	21,224	25,183
固定資産合計	51,821	63,647
資産合計	165,350	180,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,837	13,533
電子記録債務	10,647	12,481
短期借入金	1,409	1,610
1年内償還予定の社債	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	4,744	3,894
リース債務	52	583
未払法人税等	912	449
賞与引当金	2,023	1,136
役員賞与引当金	91	71
製品保証引当金	268	257
その他	6,862	8,558
流動負債合計	37,849	47,575
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	6,182	4,460
リース債務	141	3,108
退職給付引当金	831	696
役員退職慰労引当金	98	105
その他	3,149	4,435
固定負債合計	20,403	17,806
負債合計	58,253	65,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	41,672	41,672
利益剰余金	48,952	51,011
自己株式	△3,254	△3,817
株主資本合計	105,370	106,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,814	5,375
為替換算調整勘定	△4,472	△1,007
その他の包括利益累計額合計	△1,658	4,367
少数株主持分	3,384	4,160
純資産合計	107,097	115,394
負債純資産合計	165,350	180,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	95,131	90,492
売上原価	68,668	66,311
売上総利益	26,462	24,180
販売費及び一般管理費	19,602	19,557
営業利益	6,860	4,623
営業外収益		
受取利息	69	63
受取配当金	362	283
為替差益	—	301
その他	363	493
営業外収益合計	795	1,141
営業外費用		
支払利息	334	232
為替差損	222	—
借入手数料	220	223
その他	419	395
営業外費用合計	1,196	851
経常利益	6,459	4,913
特別利益		
投資有価証券売却益	36	211
補助金収入	—	400
特別利益合計	36	611
特別損失		
有形固定資産除却損	310	—
投資有価証券評価損	232	—
固定資産圧縮損	—	400
臨時損失	235	—
特別損失合計	779	400
税金等調整前四半期純利益	5,716	5,124
法人税等	1,044	1,014
少数株主損益調整前四半期純利益	4,671	4,110
少数株主利益	234	411
四半期純利益	4,436	3,698

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,671	4,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	2,527
為替換算調整勘定	944	3,817
持分法適用会社に対する持分相当額	3	45
その他の包括利益合計	975	6,390
四半期包括利益	5,647	10,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,379	9,724
少数株主に係る四半期包括利益	267	776

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	51,601	25,386	11,568	6,573	95,131	—	95,131
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,716	56	150	5,660	41,585	△41,585	—
計	87,318	25,443	11,719	12,234	136,716	△41,585	95,131
セグメント利益	5,921	1,482	52	611	8,066	△1,206	6,860

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,206百万円は、未実現利益の消去他であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	41,895	27,633	13,687	7,275	90,492	—	90,492
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,202	91	74	6,702	40,070	△40,070	—
計	75,097	27,724	13,761	13,978	130,562	△40,070	90,492
セグメント損益	2,573	1,030	△119	1,334	4,819	△196	4,623

- (注) 1. セグメント損益の調整額△196百万円は、未実現利益の消去他であります。
2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①受注状況

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
NC旋盤	23,626	8,558	28,600	13,360
マシニングセンタ	40,880	17,585	52,793	26,451
複合加工機	21,408	7,365	23,254	7,360
NC研削盤	1,472	766	2,206	1,321
その他	2,354	867	2,354	790
合計	89,742	35,142	109,208	49,284

(注) 受注高、受注残高には消費税等は含まれておりません。

②販売実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
NC旋盤	28,944	30.4	24,331	26.9
マシニングセンタ	42,414	44.6	41,859	46.3
複合加工機	19,341	20.3	20,569	22.7
NC研削盤	1,940	2.1	1,690	1.9
その他	2,489	2.6	2,041	2.2
合計	95,131	100.0	90,492	100.0

(注) 売上高には消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	25,487	12,503	21,707	59,697
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	95,131
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.8	13.2	22.8	62.8

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	28,282	13,828	17,969	60,080
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	90,492
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.2	15.3	19.9	66.4